

栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第53号

H25年14710月発行



武雄市議会議員 宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

H25年度予算223億円の概要

解りにくいけど目を通して下さいね

【歳入】

総額は、223億円で、昨年度の212億円より、約11億円増加している。その大まかな要因は、表のとおりで、○市税は、年少扶養控除が廃止されその分増収。固定資産は新築が増加したが、H24年度の評価替えの地価下落で差引きあまり増していない。

○国庫支出金や○県支出金は、障害者支援の充実に対する支出。

○繰入金は、退職手当基金からの繰入金が2億円で大半、また、国保への補助0.5億円も入っている。

○市債は市の借金で、主要道路や学校改築が中心。

結局、新年度予算収入としては市税約50億円や地方交付税約70億円の基本的部分は昨年並で、アベノミクスで、急変してない様だ。

【歳出】

○総務費は、九州新幹線鉄道建設負担金5663万円で、工事費は基本は国の費用だが、市内の都市計画の用途区域の部分は市が負担するしくみ。また、トンネル残

市 税	1 億円
国庫支出金	2 億円
県	0.5 億円
繰入金	3.5 億円
市 債	2 億円

土処分場を東川登地区に造成する1億7160万円は、全額、鉄道運輸機構から補填され市費は不要。

○民生費は、障害者自立支援関係約11億円で内9億円は国・県、老人福祉費約9億円のその中心は6億円の後期高齢者医療納付金を県の広域連合に納付する。

・児童手当が9億1652万円
・私立保育所運営費約12億円
・生活保護費が、約5億円

○衛生費では、ゴミ処理費約6億円で、うち収集に約2億円、処理関係に約2億円がかかっている。

○産業関係では、県の重点分野雇用創出事業の県費約7千万円で、いわゆる、県の緊急雇用で27名分の農林では、イチゴ等の園芸の強化に約1億円。商工では、市の融資資金預託金に1億8千万円。

○土木費では、主要道路事業として五反田・山下線(アクロスプラザ北側)・大野・下黒髪線(山内町)インター西線(北方町)に約2億円で、半分は国負担。市営和田住宅約6億円で、第2棟目(50戸)を建替。

○教育費では、武雄小学校舎・給食室・体育館建設の約9億円や、山内中学校舎大規模改造が約1.5億円。

○公債費として、借入金の元金返済として約21億円。

○諸支出金として、工業用水事業の赤字補填の5400万円など。

アベノミクス18億円 大規模経済対策と野田ミックスも

H24年度末の安倍首相の大規模予算案が話題になった。そこで武雄市への影響について調べた。

私は、前崩しにされた、武雄小学校舎改築や山内中の大規模改造、山内東・西小の給食室改築が、アベノミクスの補正前崩しと思っていたが、実は、これは、野田政権の12月補正と聞いてビックリ。メチャクチャ言われて退陣したが、実は結構、武雄市には貢献。国の経済対策の武雄市の投資的

民主党は再度自民党による政策、自民党が「はらまき3K」と批判していた政策の今を調査

H25年度は再度自民党による政策、自民党が「はらまき3K」と批判していた政策の今を調査。

①「子ども手当」→消費税がらみで自公民で、H23年10月に、所得制限の他、3歳未満1万5千円、3歳以上小学生まで1万円に減額を基本にして名称は(新)児童手当としていたが、今年度もそのまま継続される。子ども手当の時

は約11億円で児童手当は約9億円が基本継続と見れる。

②「戸別所得補償」→米などの生産原価と販売単価の差額を補償するものだが、市や県の予算を通さず国から直接支払われ詳細不明。H25も継続。なお、市内農家に約11億円が支払われたようだ。

③「高校授業料無償化」→県立高校で月額9,900円になるが、H25も無償化継続。3K全部継続していた。H26年度は変わる可能性もある話だが、やはり夏の参院選までの作戦か。

予算を見ると、野田12月補正約6億円と安倍3月補正約7億円とH25年度当予算増約5億円の合計18億円が、経済対策額だった。ところで、安倍12月補正については、市内公民館改築、道路の安全点検・農地の排水工事など。武雄中体育館に使えなかったのは、具体的に計画した事業しか、前崩しできなかった話。

確かに、学校改築は、通年の二倍はあると思う。それが忙しく武雄小の六角テラス変更や武雄中の仮テラスコートになったと思うので現在の直接担当1人を2人体制にしてはと一般質問したが、1人体制でがんばるとの部長回答だが、本当にそれが市民の為になるのか。



職員退職金 減額、武雄市の場合

退職金450万円減はそれでも幸せ。

昨年、全国的に、先生などが、卒業式まで勤めず、早期退職する事への賛否など、テレビをにぎわせていたことは、ご存知と思うが、国家公務員と民間の退職金の格差を調査した結果400万円程度の格差がありその分を是正。自治体も、それに順じて改定をする。県内の市町は、時期を合わせ今4月より、3ヶ年で減額。

具体的には、H25年度、現在の100→98.100になると、最高で150万円減。H26年度は、98.100になり、300万円の減。H27年度に、97.100になり450万円の減。

たしかに、大幅減になるので、申し分ないようにも思うが、逆に450万円が削減額なので、受取り額は2000万円台と思われるので、市内の民間企業との差はそれでもあるような気がする。

H25年度予算に反対した理由

太陽光パネルの設置費 1kw当り125万円にビックリ!

民間実体との差

今3月議会、多くの議案があったが、久しぶりに特に反対すべきものが無いと、採決2日前まで思っていた。しかし、H25年度、武雄小学校舎改築時の太陽光パネル設置の内容をたまたま聞いて、びっくりして、急に反対に変わった。

予算には、1241万円が、あげてあったので、新聞広告に大きく載っているような50kw程度で、7、8年程度で元の取れるパネルが設置されると思込んでいた。

しかし、設置するのは五分の一の10kwとのことで、単純計算しても1kwあたりのパネル設置費は、約124万円になる。これでは、20年発電しても、元が取れないどころでは無く、さらに200万円分くらいマイナスになり、省エネエコには、なっていない。

再生エネの市の方針

私は、前の12月議会において、学校では、昔は、雨の日に蛍光灯をつける程度で、あまり電気を使わなかったが、最近は、電子黒板やパソコン・iPadなど、将来的には、電子教科書まで進むなど、学校が電気なしでは、できない状況になると考えられる。そこで、現在、学校改築の多い中で、太陽光パネル設置をして、電気代の低減や、省エネを提案していた。

「学校だけでなく、市全体としての計画を立てて対応したい。」との答えだった。

しかし、まだ、全体計画では立てない状況で、武雄小のパネル設置は、当面実施されたような形だから、今後の全体計画で収支の合うエコな太陽光設置がされるように、あえて反対を表明した。

妥当な単価48万円以下

では、妥当な単価を考えると、これまで、太陽光設置に対して国・県・市が、補助金を支出していた。武雄市は、H25年度は、H23年度まで限度10万円・H24年度は同5万円補助していたが、設置単価が下がり安くなったとして、今年度は廃止した。

市の補助金申請によるデータでは、H21が64万円。H24は48万円となっていて、この48万円が、武雄市内の客観的な相場と見れる。

一方、国の補助金は、1kw当たり47万5千円以下は、3.5万円以上は、3万円と補助金が下がる分れ目が有り、これも、約48万円がこの辺が相場と思える。

それに対し、今回小学校のパネル1kw当たり124万円は2倍以上で、市民の理解できるものではないと確信し改革を求める。

年度	平均設置kw	平均工事費	1kw当(万円)	市補助金
H21	3.79	2,448,422	64.5	18.9万円
H22	4.22	2,551,950	60.5	10万円
H23	4.41	2,382,771	54.0	10万円
H24	4.78	2,313,742	48.4	5万円

(H25 廃止)

新図書館・歴史資料館オープン

CD・DVDの充実どこまで？

4つの願い

市長が、内装等に4億5千万円を投じて改装する最大の目的が、市民アンケートによる要望の多いCD・DVDの貸出し充実であった。私も以前NHK趣味悠々のビデオやジャズやユーミュージックのCDを良く借りていた。その時CDをも少し入れてと職員に言ったが、映像・音楽は入荷リクエストは受けていないと残念な状況。それが、今回、バッチリ充実したかと思ってみて驚いた。

充実の目玉であった、CD・DVDコーナーが、スタッフに案内されないと判らない所であった。しかも、陳列コーナーは以前の3分の1ぐらいになっていて、しかも、ビデオは無くなくなり、CDも少なくなっていたため、借りたい物が見当たらず、せめて、以前借りていたCDで我慢しようと思つて見たがそれも無い。スタッフに聞いたが、もうないかもしれないと思議な話。また、いった人は分かるが、CDを借りようとする、棚が職員の裏にあり座っている尻のあたりでしゃがんで見なければならぬ。

■1点目として、市民アンケートと反対になっているのではないのか！
 ■2点目として、飲食解禁になつたのに、以前あった無料のお茶コーナーはなくなっている。
 ■3点目として、図書購入の件で以前は、基本同一本は一冊が原則だった、今回、目についたのは、人気のない同じ本が4〜5冊あることで、問屋の不良在庫でも購入したかと思つてしまった。
 ■4点目は、コーナー配置の件。あかるく広々としたところに、ヒーや雑誌の売り場があり、本来の図書貸出しの場所が暗い迷路になっている点。

また、児童コーナーも、面積は1.5倍になったと言いが、そうは見えず、端に追いやられた感じ。また、機能とは別に、条例では図書館歴史資料館だが、パンフレットは、武雄市図書館と表示してある。もしそうなら条例を変えるべきで、教育委員会も事後のチェックぐらいに主体的に欲しい。以上が私の4つの願いです！

聞くと、当初の予定どおりとの答。今後、市の政策として実施を考へても良いのではないと思ふ。

住宅リフォーム急変

H23年度より始まったが、補助金全額を県が出す、県事業だが、受付窓口は、市の建設課。

不況下の業者をはじめ、市民も評判が良かった。市によっては、独自に上乘せ補助をする所もあった。(武雄市は無い)ただ、H25年度は、予算が急変して少なく、補助受給者をくじ等の抽選で決めることや年度前半で終了すると言ふ。

武雄市については、H20年度の戸建持家の戸数に応じて配分されるようになる。急減の理由を県に

県		市予算	件数
10億	H23	4140万円	200
(補正)10億+10月	H24	(1億1979万円)6160万円	(補正)2003万円 4317万円
3億円	H25	2540万円	(予定)130

武雄保育所と北方幼稚園

◎武雄保育所は、移転民営化に向けて、3月31日民間委託希望者の受け付けをマ切つたが、市内4者が応募。

今後、選定委員会決定する。ただ、心配な点がある。それはこれまで、武雄保育所を公立で機能を充実するとし、具体的には、①障害児保育②休日保育③夜間保育④病後時保育⑤一時保育⑥育児相談などの特別保育を公立保育所が担うとの考えからである。

また、市長は民営委託の時は、人的・財政的負担をすることを話したが、しかし、今回の公募要件として「特別保育充実」といった条件が入っていないのは変ではないのか！

◎北方幼稚園について今議会、民営化への方向性と、幼保一元化の「認定こども園」への意向に言及されなからず、現園で、3歳児の受け入れや、延長あすかりの実施をすべきと思ふ。

水道市内連結で希望見えた

今議会の条例改正で、水道部とまちづくり部の中の、下水道課が統合され、上下水道部になる。ただ、施行は、8月スタート。

一方、水道の特別会計に、山内町水道(水源)を連結する工事の調査費が付いて嬉しかった。それは、私が、合併以前から求めて来た、1市2町の水の融通により、瀧ノ尾浄水場23億円を建設しない事で、日本一高い水道料金を下げる事。その為には、まず各水源を連結する必要がある。合併後、北方の大峠配水池と旧武雄市の瀧ノ尾や若木配水池はすでに接続が済んでいる。(白矢印)

今後、図の点線のように山内の大野と連結すれば、西部広水(浄

市長の議場退席

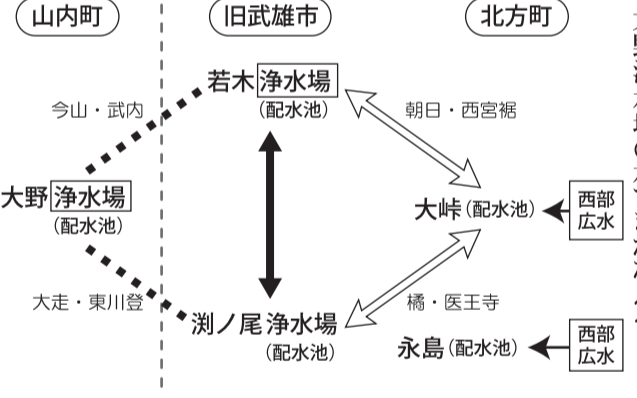
3月14日、谷口議員の一般質問の時、議場で、市長だけが上着をぬいで、シャツ姿だった。議員は、クールビズ期間は、4月〜11月までで、議会のルールを守らない様なら、市長に質問はしないとの発言。

それに対し、市長は、答弁の必要がなければ、議場に居る必要がないとして、さうと退席。議場に残されたパソコンを職員が取りに来たので、本気で戻らないつもりか？と、驚いた。

本会議中、市長が出席しないのは武雄市議会の始まって以来の出来事であった。どうなるのかと未知の体験をした。しかし、考えてみれば副市長も部長も居るわけで、特に質問を中止することもなく続けられて支障はなかった。

結局、何分か後に、市長が上着を着て戻ってきたので、一体何だったのかと思つた。

私自身も、クールビズだけではなく上着着用規定も変えても良いと思ふので、議場退席ではなく、ルール変更にも動いてもらえればと思ふ。



市立小中学校の(授業時間拡大)土曜日開校は本当にベストか？

はつきり言つて、今議会の他議員の質問で初めて知つたのが、この市立小中学校の土曜日開校で、H25年度から実施することである。具体的には、年間の土曜日の午前中を10日程度開校して授業時間の増加をするという内容。

条例改正は、教育委員会の判断で可能なことから、意向が見えなかつたと思ふ。ただ、教育委員会は、全保護者にアンケートを取つたとして、その結果、月2回の土曜開校が、54%と多かつたことを理由に上げている。

私自身の体験からは、子供が部活などとしていて、雨天や、大会等、2連休で、予選・決勝などまとめられる今の土曜休日を支持。

また、このアンケートの問いのあり方にも疑問を持つ。授業日数拡大が目的ならば、月4日や月3日

3月に明確に庁舎問題の今…

12月議会では、H25年3月には明確な方針を示すと、市長が明言されたことから、注目していた。しかし、市長の演告(政策方針)には、一行の記述もなく、きつねにつままれた状況だった。

ただ、庁舎対策課を作るとの発言で、これは、4月新年度に、設置されたのが、またお得意の兼任でこれまで担当してきた、企画課2名に建設課の1名の3人体制で大きくは変化しない状態。

一方、事務レベルでは、コンサルタントに発注していた検討案を庁内で、調整中で、それが終われば、市民の検討委員会に見せる予定。一方、議会ではこれに関する議論はなかつたが、各議員の一般質問への市長の答弁をつなぎ合わせる

と、①場所については現庁舎の近くにとどまるプランで、庁舎裏の職員駐車場が建築場所ではないかと思

の質問もあるべきと思ふ。一方、土曜日開校は、自由参加でなく、正式登校日の為、行かなければ、欠席あつかいになると言ふ。ただ、準備不足で決めた為か、具体的実施は、夏以降として、詳しい説明はない。

「土曜日開校」と「2学期制」は最近の制度改革の目玉だが、共に目的は、学力低下の対応として授業時間を増加させるのが目的。私も、当初、時数確保のために、2学期制を先頭になって推進していたが、学校のエアコン設備などのことから、夏休み後半を一部短縮して、授業時数の確保を実施したが、市外校との大会や家族での外出などの支障にならないと思ふ。また一方、土曜に何をするのか内容も不明確なので今後問うて行く。ただ私は夏休み開校派だ！

う。また、私が駅南の清本跡地の可能性を尋ねたかきつぱり否定。②建物については、市長は、商工会議所等のほかの施設の入居など、複合的な庁舎を目指す考え方のようだ。特に私が注目した発言は、新庁舎を2棟建てにしたいとの発言。しかし、議員から、2棟建ては工レバーターやトイレなど、二重投資になるのではとの指摘を受け、1棟建てへの考えに修正されたような感じを受けた。

一方資金となる合併特例債、約70%は国負担で、7000㎡で約20億円とすると、市負担は約6億円程度。しかし、今の86億円の特例債枠は学校等で使うので、新たな市建設計画を作つて国に認めてもらう必要がある。またこれを機会に白岩体育館なども計画に加えるべきとの提案に当然との答え。